

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第30期中間期（平成19年4月1日より平成19年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

昨夏、経済産業省から受けた行政処分、並びにそれに起因する業績低迷につきましては、多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、改めまして深くお詫び申し上げます。

当グループではこの1年間、コンプライアンス体制の強化や信頼回復への注力はもとより、生産性の向上、並びに徹底した経営合理化を図り、業績回復に努めてまいりました。

経常利益ベースで黒字に転換し、ようやく成長路線を歩む局面を迎えたものと考えております。エコビジネスの重要性が増す中、さらなるお客様満足を追求め、業績向上を図りながら、皆様のご期待に応えられる企業として成長してまいり所存です。

これからも、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成19年12月



【会社概要】（平成19年9月30日現在）

商号	株式会社サニックス
本社	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立	昭和53年9月
資本金	140億4,183万円
従業員数	1,659人



株式会社サニックス
代表取締役社長

宗政 伸一

株式会社サニックス

福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号〒812-0013

TEL.092-436-8870

URL.<http://www.sanix.co.jp/>



SANIX

株主通信 第30期中間ご報告

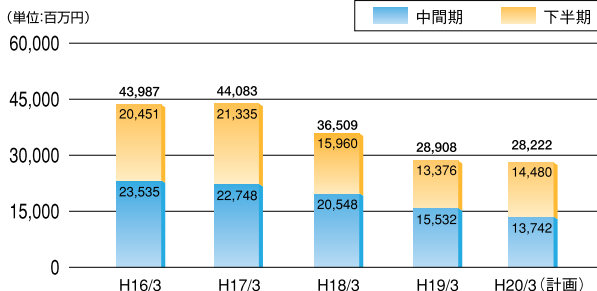
平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

事業概況

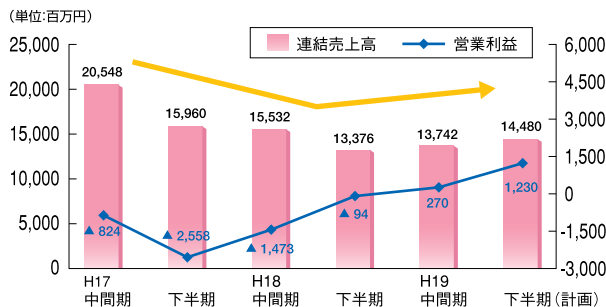
徹底したコンプライアンスのもと、顧客本位の営業活動により信頼回復に努めるとともに、生産性の向上、並びにコスト削減による収益性の改善に注力してまいりました。コア事業であるHS事業部門の業績低迷は底を打ち、堅調に推移しております。一方、環境資源開発事業部門においては、前第4四半期に発生したサンニクスエナジー苫小牧発電所の火災事故に伴い、その安全対策に時間を費やしたことで、一時的に業績を押し下げる結果となりましたが、平成19年6月12日の操業再開以降は、安定的に稼働しております。また、経営資源をHS事業部門に集中させるため、平成19年11月6日付で、北九州工場（焼却処理工場及び廃プラスチック処理工場）を事業譲渡いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、13,742百万円（前年同期比11.5%減少）と、ほぼ計画通りに推移いたしました。利益面では、全社的なコスト低減による損益分岐点の引き下げや、限界利益率の高いHS事業部門の業績回復により、232百万円の経常利益となりました。当期純損益は、特別損失として、事業譲渡に伴い221百万円、並びに会計方針の変更に伴い役員退職慰労引当金216百万円を計上したことにより、421百万円の当期純損失となりました。

■連結売上高の推移



■連結売上高と営業利益の半期ごとの推移



■中期連結貸借対照表の要旨

単位:百万円

項目	期別	前中間期末 (H18/9)	当中間期末 (H19/9)	前期末 (H19/3)
資産の部				
流動資産		5,172	4,380	4,125
固定資産		29,504	27,353	28,579
資産合計		34,677	31,733	32,705
負債の部				
流動負債		11,268	10,040	9,410
固定負債		5,509	4,623	5,753
負債合計		16,778	14,664	15,164
純資産の部				
純資産合計		17,898	17,069	17,540
負債及び純資産合計		34,677	31,733	32,705

■中期連結損益計算書の要旨

単位:百万円

項目	期別	前中間期 (H18/9)	当中間期 (H19/9)	前期 (H19/3)
売上高		15,532	13,742	28,908
(HS事業部門)		8,475	8,287	15,205
(ES事業部門)		2,212	1,798	4,090
(環境資源開発事業部門)		4,845	3,656	9,612
売上原価		8,700	7,718	16,229
売上総利益		6,832	6,023	12,679
販売費及び一般管理費		8,305	5,753	14,247
営業損益(△損失)		△1,473	270	△1,568
営業外収益		64	73	115
営業外費用		110	110	206
経常損益(△損失)		△1,519	232	△1,659
特別利益		225	1	420
特別損失		192	615	551
税金等調整前中間(当期)純損益(△損失)		△1,487	△381	△1,789
法人税、住民税及び事業税		60	44	103
法人税等調整額		29	△3	35
少数株主利益		2	△1	1
中間(当期)純損益(△損失)		△1,579	△421	△1,930

■中間連結キャッシュフロー計算書の要旨

単位:百万円

項目	期別	前中間期 (H18/9)	当中間期 (H19/9)	前期 (H19/3)
営業活動によるキャッシュフロー		△837	1,340	△1,006
投資活動によるキャッシュフロー		1,441	468	1,583
財務活動によるキャッシュフロー		△1,289	△1,256	△1,380
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	0	0
現金及び現金同等物の増減額		△686	553	△803
現金及び現金同等物の期首残高		1,398	595	1,398
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		712	1,148	595

お知らせ

■焼却処理工場等を事業譲渡

さらなる業績拡大のため、コア事業であるHS（ホーム・サニテーション）事業部門へ経営資源を集中させる必要があると考え、環境資源開発事業部門の一部を事業譲渡いたしました。

- 譲渡日 平成19年11月6日
- 譲渡先 アサヒブリック株式会社
(主な事業内容:貴金属リサイクル事業及び環境保全事業)
- 譲渡事業 以下、3施設及び付随する事業

事業内容	所在地
営業部 九州支店	福岡県北九州市門司区新門司3丁目81-5
北九州 焼却処理工場	同 上
北九州 廃プラスチック処理工場	同 上

- 譲渡価格 2,200百万円

所有者別株式状況 (平成19年9月30日現在)

金融機関	5,385	11.32
証券会社	744	1.56
その他の法人	10,659	22.41
外国法人等	7,975	16.77
個人その他	22,808	47.94
合計	47,572千株	100.00%

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 中間配当のある場合は毎年9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告掲載方法	日本経済新聞